

ESPERANZA

三田西陵高校 24 回生 2018. 4. 9 発行 No. 26

「自分越え」

学年主任 上郡 隆義

春休みの職員室は、新学期の準備のため、あわただしい雰囲気です。（特に担任の先生方の作業は本当に大変です。）そんななか3学期末に撮影した個人写真が届きました。入学時の君たちの写真と比べながら、この2年間の出来事をいろいろ思い出しました。そして残された「勝負の1年」で、君たちのどの部分を伸ばしていけばいいのかを考えました。多くのことが頭に浮かびましたが、新年度を迎え最も言いたいことは、「自らの力を信じて挑戦してほしい」ということです。以前にも言いましたが、成功の反対は失敗ではなく、何もしないことです。

君たちのなかにはまだ何もせず、自分は出来ないと決め込んでいる人がまだ多くいます。出来る限り高い目標を設定して、樂をしたい自分に克ち、いままでの自分を超越するための取り組みをしてください。

「学生時代に「音楽で日本一になりたい」と思ったが、なぜ「世界一」と欲張った夢を抱かなかったのかと思う。人に笑われるくらい、でっかい目標を立てましょう」

これは、ミュージシャンのつんくさんがこの春、母校の入学式で新入生に対して発したメッセージです。無限の可能性を秘めた君たちも、今の自分を超越するために挑戦を迷わずにしてください。一生懸命ものごとに取り組み、悩み苦しんだ経験は、将来の自分を支えてくれます。そして目標を達成すれば、当然達成感を味わえます。成長した自分を実感できます。マイナスな要素は全くありません。

担任の先生をはじめ、三田西陵の先生方は、君たちの一生懸命を全力でサポートします。

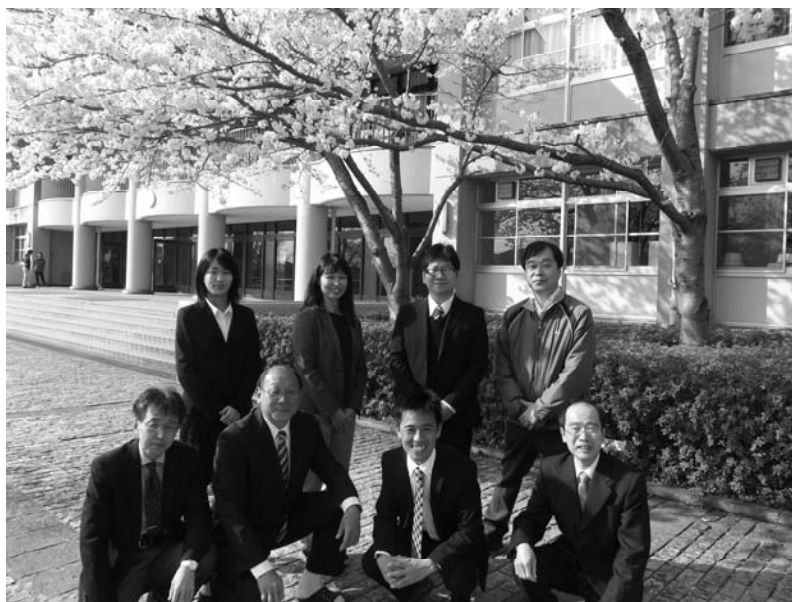
※ちなみに私の今年の目標は、フルマラソンで「サブスリー（3時間を切る）達成」です。おじさんも「自分越え」の挑戦をします。若い君たちには絶対に負けません。



《今年度の第3学年団です》

学年主任	上郡 隆義（地公/ソフトボール部）
1 組（理）	林 友哉（数学/男女バスケットボール部）
2 組（理/文Ⅱ）	吉田 秀一（英語/女子ソフトテニス部）
3 組（文Ⅱ）	小野 成伸（国語/柔道部）
4 組（文Ⅰ）	芳賀絵里奈（英語/女子サッカー部）
5 組（文Ⅱ）	近藤 和彦（保体/陸上競技部）
6 組（子み）	塩山 恵子（保体/女子ソフトテニス部）
学年担当	藤井 克法（地公/男女バスケットボール部）

今年度は新たに学年団に近藤先生と藤井先生に入ってくださいました。高校生活も残りわずか、夢に向かってお互い全力で取り組んでいきましょう！！



5 組担任 近藤 和彦

初めまして。近藤和彦です。兵庫県立篠山鳳鳴高等学校から転勤してきました。

教科は保健体育、専門は陸上競技です。高校・大学時代は主に走幅跳・三段跳をやっていました。

これから3年生でお世話になります。よろしくお願いします。

実は3年生の担任をするのは8年ぶりになります。前の学校では5年間生徒指導部の仕事をしてたので、今新鮮な気持ちでいます。ただし、年齢的には君たちの3倍以上生きてきましたので、若さについて行けるか若干心配しています。この学校では君たちの方が先輩になりますので、いろいろ教えてください。

3年生は進路決定の年になります。悩みも多くなると思います。でもそれが青春。いっぱい悩んで、でもいっぱい努力して、しっかり自分の夢を叶えていきましょう。

1 年間よろしくお願いします。

「繰り返しと変化」 学年担当 藤井 克法

ついこの間まで大変寒い風が吹き、春などまだ先のことに感じられましたが、わずか数日の内に暖くなりました。桜も咲き、一挙に春になり、この時季私はいつも、この信じられないような自然の急激な変化に驚かされます。春から夏へ、秋から冬へと同じような驚きが繰り返されます。自然はこれまで数億年、このサイクルを繰り返してきました。そしてこれからも繰り返されるでしょう。多くの生き物もこれに従って生きています。

生き物は自然のサイクルを離れて生きることはできません。その中で過去から未来へ、同じ繰り返しの中で生きています。しかし、私たち人間だけは自然に従いながらも、ただ繰り返すだけではなく、生き方の中身を充実させることができます。去年の春の自分より今年の春の自分はどうか変化したのか。さらに来年の春の自分はどうか変化するのか、と。これは最近、特に私自身にも聞きたい言葉でもあります。皆さんはいかがですか。

《4月当初の時間割》

10日（火）

1 限	対面式
2 限	離任式
3 限	考査準備
4 限	課題考査（化学・歴史B）
5 限	課題考査（英語）
6 限	課題考査（国語）

11日（水）

	理型	文Ⅰ・文Ⅱ・子み
1 限	考査（数）	授業
2 限	考査（物・生）	

※3限以降は、全クラス授業です。

4限はLHRです。

12日以降の主な予定

- 12日(木)・・・身体測定 自転車通学者集会
- 19日(木)・・・進路説明会
- 20日(金)・・・学級役員研修会
- 23日(月)・・・自転車安全点検
- 24日(火)・・・部登録

なお今年度も朝の小テスト(国・英・歴・化)を16日より実施します。詳細は後日連絡します。

《岸先生と和田先生からメッセージをいただきました》

昨年まで5組の担任だった岸浩正先生はこのたびの異動により三田祥雲館高校へ、学年十でお世話になった和田憲太先生は香美町立小代中学校に採用されました。二人の先生から24回生のみんなにメッセージをいただきました。ぜひ熟読してください。

「たくさんの思い出をありがとう」 岸 浩正

11年間の西陵高校での教師生活が終わりました。様々な想いがこみ上げてきます。君達も含め、たくさんの生徒達と共に笑い泣き、時には声を張り上げて怒鳴り…あっという間の11年間でした。君達の卒業を見届けず学校を去る…本当に寂しいです。しかし、君達が3年生になるように、岸も新たなステージに立ちます。不安や期待など様々な想いが入り混じっていますが、勇気を出して先に進もうと思います。24回生諸君、私は『夢を叶えてこそ夢』をポリシーとしています。君達もそれぞれの夢に向かって突き進んでください。出来る出来ないは関係ない。まずやってみる。チャレンジする。その先にしか夢の実現はありません。失敗を恐れず、失敗から学び、改善して先に進む。輝かしい未来を掴んでください。

「24回生ありがとう」 和田 憲太

丹後校長前先生のブログに、「旅立つときには、思い切って旅立つのが良い。ぐずぐずしていたり、無理にこれまでの世界にしがみつこうとすれば、うまく旅立てない。」と書いてありました。本音を言えば、17歳のころから憧れてきた高校教師でなくなることが残念で仕方がないし、まだあきらめきれません。もっと高校数学を教えたいし、女子サッカー部と一緒に丹有総体を戦いたいし、未練がいっぱいです。ですが、もうここは私の居場所ではありません。みなさんには、この1年間で私が伝えられるいろんなことを、授業や学年集会などで話をさせてもらったつもりです。その中で、今でも心に響いていたり、大人になったときにふと思い出してもらえるものが何か1つでもあれば、それで幸せです。卒業式で立派に成長した顔を見せてください。24回生が全員立派に卒業してくれることを、遠くで願っています。

《春休みの24回生》

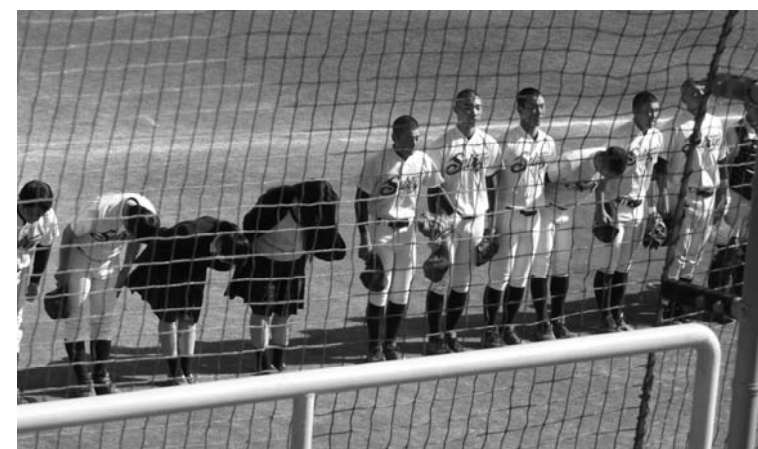
吹奏楽部定期演奏会(合唱部・放送部もがんばりました。)



春季補習のようす



野球部公式戦



《三田西陵高校ホームページ》

学校生活・行事の詳細・警報発令時の情報等はホームページをご覧ください。また、各種書式・証明書もダウンロードできるようになっています。
URL: <http://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/sandaseiryo-hs/htdocs/>